

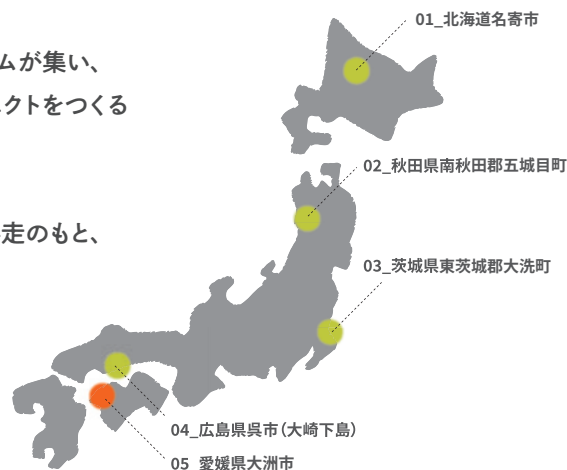
地域に根ざす資源・文化を磨き これからの循環を考える12週間

migakiba(ミガキバ)は地域を超えて多様なバックグラウンドや専門性を持つチームが集い、地域の資源や文化をともに探索し磨き合うことで、新たな循環を生み出すプロジェクトをつくる実践型人材育成プログラムです。

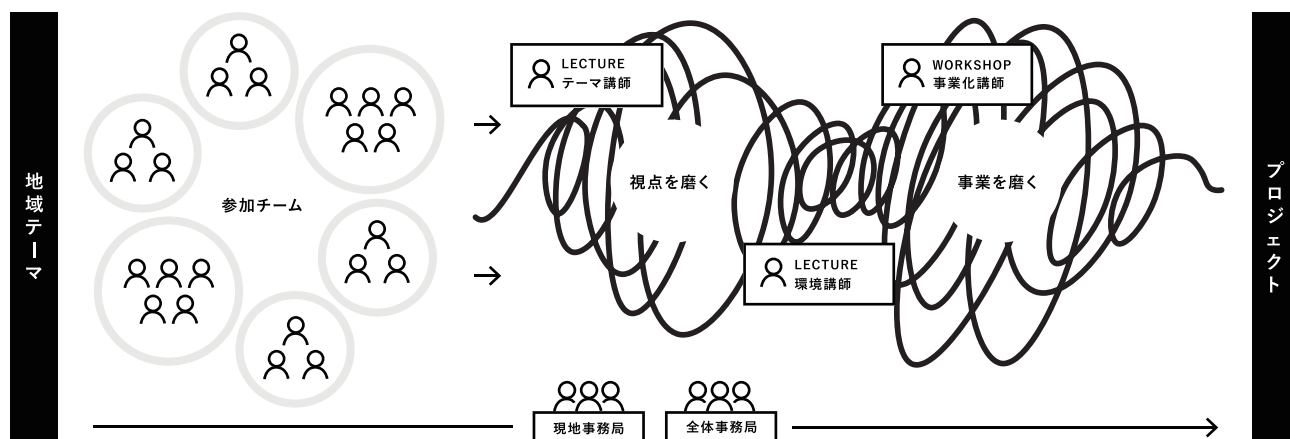
令和3年度は独自の自然環境や文化的・歴史的背景を持つ5つの地域を舞台に、それぞれの土地に根ざして先駆的な活動を実践する現地事務局、講師陣による伴走のもと、新たなプロジェクトを構想していきます。

各地域を起点に、ときに交わりながら進む約12週間(11/27~3/5)のプログラム。

応募は3~5名で1組のチーム単位とし、スムーズなコミュニケーションがとれる体制で実施していきます。ご参加をお待ちしています！



〔プログラム3つの特徴〕



- 1 デザインの力で地域の持続的な好循環を生み出す人材の育成**
循環経済・自立分散型社会・脱炭素地域への移行に向けて、地域の資源や文化を内外の視点から磨き合うことで、これからの持続可能な地域のあり方を切り拓く人材を育成します。
- 2 地域における先駆的实践者の伴走のもと、探索する5つのテーマ**
5つの開催地それぞれの自然環境・文化的背景に基づくテーマを設定。先駆的实践者として活動する企業・団体が現地事務局を担うことで、地域・テーマに対する理解と洞察をサポートします。
- 3 各分野の講師陣とともに、地域を超えてアイデアを磨くプログラム**
5つのテーマに加え、デザイン、ビジネス、ストーリーテリングなど各分野を専門とする講師陣によるセミナー・メンタリングで、プロジェクトを多角的視点から磨き、実現に向けてサポートします。

FIELD&THEME

対象地域05: 愛媛県大洲市

テーマ: 自然と文化を結ぶまちなみ



清流・肱川の水運の拠点として、木蠟業、製糸業、木材などで栄えた大洲では、明治~昭和初期の景観がいまも残されています。そのまちなみは地域の自然と資源、そして歴史と文化を体現する場でもあります。肱南地区全域に広がる分散型ホテル群や、15年以上前に廃屋となり再生が待たれる「新田病院」などをフィールドワーク先候補とし、地域の資源を持続的に保全・活用できる仕組みづくり、まちなみ再生や創業支援、ツーリズムなど、多様な産業への接続を目指します。

想定される事業領域
地域資源の保全・活用、まちなみの再生、ESG

現地事務局 |
一般社団法人キタ・マネジメント
事務局代表 | 井上 陽祐



愛媛県大洲市の登録地域DMO。2021年8月には重点支援DMOとして選定され、地域資源を生かした観光まちづくりを実施する組織。物販事業、観光施設運営事業、ふるさと納税事業、観光事業、不動産事業等様々な収益力を持ち、大洲城キャッスルスティなど日本初の城泊の実現など地域資源をつかった新しい観光産業創出を行っている。

その他対象地域とテーマ

01 北海道名寄市

「健やかな身体が育む土地」

自然と向き合い、健康に暮らせるまちをいかにしてつくるのか。スポーツをまちづくりの中心に据える名寄を舞台に、高い雪質を誇る「ピヤシリススキー場」や、新しいアイデアとチャレンジ、多様なコミュニティが交錯するスペース「naniroBASE&Lab.」などをフィールドワーク先候補としています。身近なスポーツを入り口に、自然との関わりを生み出すライフスタイルやツーリズム、ヘルスケアのあり方を探ります。

想定される事業領域

自然とつながるライフスタイル、エコツーリズム、ヘルスケア

現地事務局

Nスポーツコミッション

02 秋田県南秋田郡五城目町

「まざる・つくる暮らしの仕組み」

地域に根ざし、資源を活用した土着ベンチャーを生み出し、さまざまな学びと実践の場を生み出す五城目町。廃校を活用したシェアオフィス「BABAME BASE」や、500年の歴史を持ち、特定の曜日にはだれでも出店できる仕組みで消費者と生産者の垣根を越える「五城目朝市plus+」などをフィールドワーク先候補としています。小中学校の給食の廃棄を自分たちでコンポストとして、農家に返す授業なども始まる中、自分たちの環境を自らの手で耕す仕組みに学び、新たな活動を生み出します。

想定される事業領域

食と農の循環、アップサイクリング、環境学習

現地事務局

ハバタク株式会社

03 茨城県東茨城郡大洗町

「海と陸をつなぐ循環」

茨城県有数の観光地で、北関東最大の大洗サンビーチ海水浴場などで知られる大洗町。海辺の文化の伝承・発展、豊かな自然を守り育てるための環境学習と保全活動に取り組むNPO法人・大洗海の大学が活動する同キャンプ場や2020年にオープンした新たな観光拠点「うみまちテラス」などをフィールドワーク先候補としています。海や海辺の環境の現状から、陸＝私たちの暮らしを捉え直し、これからの循環のあり方を探求します。

想定される事業領域

海洋プラスチック問題、生物多様性・生態系保全

現地事務局

株式会社カゼグミ

04 広島県呉市(大崎下島)

「ともに生きるための技と術」

「くらしを、自分たちの手に取り戻す。」をコンセプトに、相互扶助コミュニティの創出や学習プロジェクト、高齢者生活支援のための技術開発、持続可能な農業の実践など、大崎下島久比地区で多角的な事業に取り組む一般社団法人まめな。その拠点である「旧梶原医院」やデジタルクラフト工房をそなえた訪問看護ステーション「Nurse&Craft」などをフィールドワーク先候補として、地域に培われてきたまちぐるみでの自給自足文化から、自然と共生する暮らしとケアのあり方を探索します。

想定される事業領域

リジェネリック農、自然エネルギー、相互扶助コミュニティ

現地事務局

一般社団法人まめな

REQUIREMENTS 募集概要

応募は3～5人で一組のチーム単位で受け付けます。5地域から、ご希望の開催地を選択しご応募ください。

- ・募集人数：各地域25名程度（勤務地/居住地に関わらず、いずれの地域にも応募可能）
- ・募集対象：おおむね35歳以下の社会人。主体的に学び、挑戦する姿勢を持つ方。
- ・参加費用：無料（交通費や宿泊費のみ自己負担）
- ・実施期間：2021年11月27日（土）～2022年3月5日（土）

SCHEDULE 開催スケジュール

参加者公募イベント 10月30日（土）18:30～21:00

地域別参加説明会 11月4日（木）18:30～19:30

お申し込み締め切り 11月10日（日）22:00

オリエンテーション 11月27日（土）18:30～21:30

ウェビナー① 11月29日（月）19:00～21:30

現地フィールドワーク ※週末開催を予定。

ウェビナー② 12月13日（月）19:00～21:30

ウェビナー③ 1月10日（月）19:00～21:30

ウェビナー④ 1月24日（火）-1月28日（金）※いずれか1日に参加

ウェビナー⑤ 2月7日（月）19:00～21:30

現地報告会 2月23日（水・祝）10:00～13:00

全体発表会 3月5日（土）13:30～16:00

ENTRY お申し込み

申し込みメ切りは2021年11月10日（水）22:00です。

ウェブサイトにて詳細をご覧ください、お申し込みください。

<https://migakiba.re-public.jp/> ➡



EVENT 地域別参加説明会

11月4日（木）18:30より、オンラインにて地域別参加説明会を実施します。現地事務局担当者やメンターによるトークもありますので、ぜひご参加ください。



《登壇者》

左) 井上陽祐／一般社団法人キタ・マネジメント
株式会社KITA 代表取締役

右) 山鬼育子／OZU+ 代表



EVENT
お申し込み

【主催】環境省 【企画運営】株式会社リ・パブリック

【お問い合わせ】migakiba運営（担当：株式会社リ・パブリック 徳田、白井）メールアドレス：info@re-public.jp